



冊子に
掲載されました！

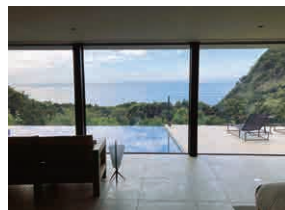
「雨水利用事例集」に、 ミニソフィ・アメリオの浄化システムが掲載されました

2022年12月にオープンした静岡県西伊豆にあるオフグリッド型宿泊施設「WEAZER」。
こちらの宿泊施設に、水の自給をコンセプトに、ミニソフィとアメリオの浄化システムを採用いただきました。

施設内の洗面台・シャワー・流し台の水（水飲み水以外）は、雨水をアメリオで浄化・水質維持し、活用しています。トイレ汚水は高度処理し、トイレ洗浄水に再利用しています。

雨水利用事例集に「**雨水で暮らすホテル**」としてトピックスに紹介されています。

ぜひご覧ください。



■ アメリオ

雨水貯留量：3m³

活用方法：シャワー・洗面・流し

水質：整雨レベルⅣ・制菌レベルA

電源：単相100V

■ ミニソフィ

処理能力：定員2名・BOD 10mg/L・SS 10mg/L以下

活用方法：便器の洗浄水

電源：AC100V

2025年11月に第二弾
「WEAZER西伊豆 廻」が
静岡県沼津市にオープン！



雨水利用事例集 表紙(令和7年3月)
内閣官房 水循環政策本部事務局
国土交通省

トイレで◎地方創生

toiletrip

トイレ×観光の可能性を追求するWEBマガジン

toiletripでは、その地に暮らしているからこそ知っている、日本各地の魅力を記事にして発信しています。

旅行で訪問先を決めるとき、キレイなトイレがあるのかなのかは意外と大事なことです。

そこにキレイなトイレがあったら...日本の観光は少しずつ変わるかも知れません。

SDGs、地方創生、バリアフリーまで考えながら観光におけるトイレの重要性について、toiletripは可能性を探っていきます。

ぜひ、快適でたのしい旅のご参考にtoiletripをご活用ください。



toiletrip



Instagram

@toiletrip_sofil



特設サイト



youtube

アルコちゃんねる

PICK UP!

「ミニソフィⅡ」デモ機の製作を開始しました

「ミニソフィⅡ」は「移動可能な循環型水洗トイレシステム（ミニソフィ）」の後継機種として、「処理性能を維持」しつつ、システムの「コンパクト性」や「コストの低減」を両立できるシステムです。トイレ汚水を一般の浄化槽で処理した後、処理水に残存する「色」や「臭い」、その他の汚濁物質を「土壌を用いて3次処理」します。

2022年より製品化を目指して実証試験を行い、この度、デモ機の製作を開始しました。

来春ごろ、三重県津市にてお目見えする予定です！

納入事例随時更新しています！

アルコのホームページで最新の施工事例を随時更新しています！用途別での納入事例もご紹介しています。是非ご覧ください。

ソフィール 事例

検索



ソフィール協会

〒254-0815

三重県津市藤方2254番地1(アルコ(株)内)

TEL 059-213-8811 FAX 059-213-8880

URL <http://sofil-kai.net/>

MAIL info@alcoinc.co.jp

あっ！
行きたい！



全国 239 ャ所に導入！環境型トイレ浄化槽

Sofil news

ソフィールニュース

vol.

44

2025
Autumn



Topics

特集

防災公園や避難所にオススメ！
ソフィール協会の防災製品

「雨水利用事例集」に、ミニソフィ・アメリオの
浄化システムが掲載されました
(内閣官房 水循環政策本部事務局・国土交通省)



ソフィール協会の 防災製品

防災公園や避難所にオススメの
防災製品をご紹介します

＼災害時の停電や断水に対応！／
観光地から防災公園まで、
安心の処理能力で地域を下支えする
環境保全型水洗トイレシステム
「ソフィール」



■ ソフィール処理水循環利用＋蓄電池＋太陽光発電



山口県「向島運動公園」



山口県「ながとスポーツ公園」

■ ソフィール処理水循環利用＋発電機



愛知県「小幡緑地公園」



三重県「おりきの松公園」

水道や下水道がない場所でも設置でき、電気がなくても太陽光発電・蓄電システムで対応可能。

土壌微生物膜浄化槽「ソフィール」は高度処理型のため、処理水をトイレ洗浄水へ再利用しても色と臭いが気になりません。また、他の浄化槽にくらべて消費電力がわずかで、電気代を大幅に削減できます。

太陽光発電・蓄電システムや小規模な非常用電源を併設することで、災害地の停電や断水に対応できる
「周辺インフラから完全独立した防災トイレ」になります。

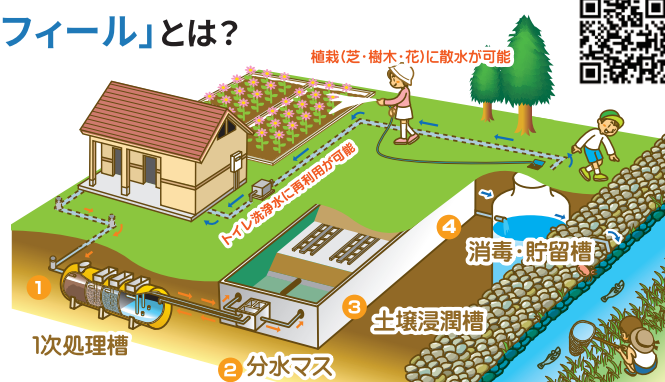
下水道エリアでも浄化槽が設置可能に！

2017年より、下水道処理区域でも避難所などの施設であれば、浄化槽の設置が可能になりました。
(参考:2017年3月「国土交通省」災害時に設ける合併処理浄化槽等の建築基準法上の取扱いについて)
これにより、災害時に一時避難が必要な公園や公共の集会場、体育館などの避難場に、ソフィールなどの浄化槽を導入できるようになりました。

製品紹介 Products

土壌微生物膜高度処理浄化槽「ソフィール」とは？

ソフィールは環境に優しい汚水処理システム「土壌微生物膜高度処理浄化槽」です。わずかな消費電力で高度な汚水処理ができ、維持管理が容易でランニングコストが安く、利用者の変動が大きい施設でも安定した処理を行えます。処理水を循環利用することにより防災対応型トイレとしても利用可能で、放流先の無い場所や環境に配慮したい場所にも最適な浄化槽です。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



環境技術実証事業
ETV 環境省
環境省 平成28年度環境技術実証事業 (ETV事業)
「自然地域トイレし尿処理技術分野」の認証済み技術です。
http://www.env.go.jp/policy/etv/
自然地域トイレし尿処理技術分野
平成28年度 実証試験 (No.001-1800)
環境省 環境技術実証事業 (ETV事業)

移動可能な循環水洗型トイレ「ミニソフィ」とは？

ミニソフィは汚水処理システムと多目的トイレを一体化した移動可能な循環型トイレです。20フィートのコンテナ内に循環型汚水処理システム (ソフィール) をコンパクトに収納することで「ゆったり」「広々とした」トイレ空間を創出しました。車いす利用者、高齢者、小さなお子様連れの方などに安心してお使いいただける多目的トイレです。



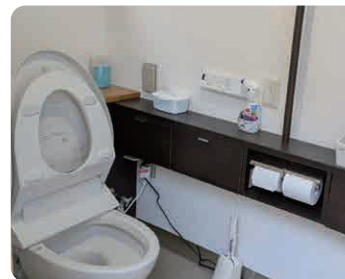
＼インフラ不要！／
水道・電気・下水道がいない
移動可能な循環型水洗トイレ
「ミニソフィ」



■ ミニソフィ 300回タイプ (AC 電源)



長野県「大町ダム工事現場」



■ ミニソフィ 50回タイプ＋太陽光発電・蓄電システム



三重県「なるせ自然共和国」



水道、電気、下水道がない場所、海岸にコンテナを設置するだけ。

水は微生物が分解して繰り返し使用可能で、自然に負荷を掛けない技術を集約したコンパクト設計です。ランニングコストも抑えられ、災害時にも活躍する環境保全型水洗トイレ「ミニソフィ」。

＼雨水を有効活用！／
微生物で水質を浄化・維持する
雨水貯水・活用システム
「アメリオ」



■ アメリオ (トイレ洗浄水、手洗い水、プール補給水に活用)



三重県「みえ森林・林業アカデミー」



広島県「某社宅」



沖縄県「クラスザファースト」



静岡県「WEAZER 西伊豆」

トイレの手洗い水や処理水、プールの補給水等に活用し、環境にやさしい暮らしを。

雨水はチリやほこり、排気ガス、PM2.5汚染物質、黄砂や花粉などで汚れています。雨水貯水・活用システム「アメリオ」は、タンク内に貯めた雨水を微生物を使用し、浄化・維持するシステムです。「アメリオ」で雨水を水洗トイレの洗浄水、手洗い水や植物への散水などに利用し、水資源の有効活用、災害時の緊急用水活用など「地球にいいこと」ははじめませんか。

雨水貯水・活用システム「アメリオ」とは？

アメリオはタンク内に雨水を貯水し、微生物で水質を浄化・維持するシステムです。整雨レベルⅣ (洗面・シャワー・風呂利用できるレベル※国土交通省雨水の利用推進に関するガイドライン) を目標水質とし、キレイな雨水はトイレ洗浄水や植物の散水、洗車水、クーリングタワー補給水、災害用非常用水などさまざまな用途で有効活用できます。



三重県「高野尾花街道 朝津味」で実証実験中

アメリオの浄化技術は立命館大学 久保教授が「発明した特許技術で、アルコが実施許諾契約しています。